

(別記様式)

令和6年度 府立丹波支援学校亀岡分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） 【計画段階】

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>花ノ木医療福祉センターに入所している児童生徒を教育する学校であるという分校の特性及び特別支援教育の考え方を踏まえ、以下のことに取り組む。</p> <p>(1) 学校経営計画に基づき計画的・組織的・効率的な経営を推進する。</p> <p>(2) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導を推進する。</p> <p>(3) 安心安全の教育活動を推進する。</p> <p>(4) 保護者、花ノ木医療福祉センター、地域等関係する諸機関と円滑な連携を図る。</p> <p>(5) 教職員のメンタルヘルスケアを図る。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">• 教科等合わせた指導「生活単元学習」や音楽等の学習について、助言者を招聘して研修し、授業改善に取り組めた。• ヒヤリハット事象の分析を行い、再発防止や医療ケアの向上につながった。• 花ノ木医療福祉センターと連携し、感染状況に応じて、こまめに感染対策を見直し、教職員全員が基本的な感染対策を徹底することで、安心安全な教育活動を実施することができた。• 不審者対応や避難誘導の仕方、さすまたの使い方等の研修を行い、有事の際の対応について再認識することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">• 各学部の生活年齢に合わせた学習のねらいについて十分な論議ができていない。• 専門家の助言を受けながら、更に授業改善を図る。• 児童生徒の実態に沿った感染対策を継続していく。• 保護者との連絡ツールを構築する。• 地域の方々への発信とつながりを目指した取組を試行していく。• 効率的な会議の運営と時間確保の工夫が必要である。（コミュニケーション不足の解消）• 教育相談のシステムを構築する。	<p>(1) 集団での学び合いの場や教材を工夫し、今を大切にした学習を成立させる。</p> <p>(2) 研修等を実施して児童生徒理解を深め、個に応じた指導を充実させる。</p> <p>(3) 脱コロナの時代でも感染予防対策を徹底し、安全安心を確保しつつ、児童生徒にとって有意義な活動を実施する。</p> <p>(4) 交流内容を充実させ、実践を積極的に発信し、地域とのつながりを強める。</p> <p>(5) ICT機器の活用を充実させる。（学習・校務・保護者連絡等）</p>

評価領域		重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	学校経営 (運)	教職員の学習や行事等への見通し 余裕をもって取り組むリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 月2回の運営会議の議題を精選し、効率的に進める。(資料の事前配付、時間短縮) 各分掌の計画の進捗状況をチェックし、計画をやりきる。 		
	保護者連携 (教)	行事等の計画的、柔軟な運営	<ul style="list-style-type: none"> 感染等による急な変更についても、できるだけ早く連絡できるツールを構築する。 		
	医療連携 (医ケア)	花ノ木医療福祉センターとの綿密な連携 医療的ケアの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事象について原因分析の会議を設定し、対応策を学校全体で共有・確認する。 		
	危機管理 (危)	〔感染対策〕 校内における感染予防対策の整備及び徹底	<ul style="list-style-type: none"> 花ノ木医療福祉センターと連携しながら、基本的な感染対策を徹底し、安全な教育活動を実施する。 		
			<ul style="list-style-type: none"> 感染予防の概念を教育活動の一環として捉え、様々な活動における感染予防対策を徹底する。 		
		〔防災対策〕 避難経路、避難方法(個による配慮事項)の再確認 屋内消火栓、消火器の使い方の周知	<ul style="list-style-type: none"> 教職員全員で、避難経路・避難方法について共通理解し、避難訓練を行う。 講師を招聘し、屋内消火栓や消火器の使い方、管理の仕方を学ぶ。 		
	〔緊急時の基本的な対応〕 緊急時の対応の基本を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の対応の基本を学ぶ。消防署の普通救命講習を受け、AEDの扱い方や心肺蘇生の手技を身につける。 			
情報発信 (情)	ホームページの更新と活用 学校だよりの地域への回覧	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動を保護者・地域の方に発信し、亀岡分校についての理解度を高める。 			
業務改善 (運)	心身ともに健康に働ける職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教育の質の向上に努めながら、勤務時間内の時間の活用(会議、教材研究等)を効率よく進行させる工夫を出し合い、働き方改革を進める。 			

教育課程	学習指導 (教)	「今を生きる子ども達」への教育課程の編成・計画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を基にした道徳の目標を確認し、授業改善に努める。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・学部の系統性について検討し、各学部で児童生徒にどのような力を育てたいのか確認する。 				
	研究 (研)	「今の自分の力を発揮できる」ための授業作りの研究	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等合わせた指導「生活単元学習」の研究授業及び授業改善等のアドバイスを専門家から受け、よりよい授業作りを実施する。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・重度重複障害のある児童生徒にとっての音楽活動について、研修会を実施し、生活の豊かさに繋げられるよう取り組む。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の目標を達成するために専門家からアドバイスを受け、校内で流れ図の研修を行い、より良い授業作りを実施する。 				
	健康安全 (保)	児童生徒の保健管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・花ノ木医療福祉センター及び保護者と連携し、個人の特性や健康状態を的確に把握する。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を含めた日常の疾病予防および校内衛生管理を徹底し、安全な学習環境を整備する。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーと連携し、保護者及び教職員の健康や精神衛生におけるサポート体制を整備する。(教育相談の設定・研修会の企画) 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア担当者会と連携し、個の実情に合った救急訓練を企画運営する。 				
		個の特性に応じた保健教育の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断事前指導を実施し、児童生徒の「からだ」への関心を深め、指導者と共に健康な「からだづくり」に取り組む。 				
			<ul style="list-style-type: none"> ・保健ニュースの発行を通して、児童生徒の保健教育への興味関心を深める。 				

地域連携	交流及び共同教育 (交)	「地域に根ざし、地域と生きる学校」を目指すために、新しい形の交流及び共同学習の推進	・居住地校交流（近隣の学校）を充実させる。				
			・学校内交流（本校の各学部、訪問生）との交流を充実させる。				
			・亀岡分校卒業生と在校生とを繋ぐ花ノ木医療福祉センターとの交流及び共同学習を実施する。				
			・「地域に根ざし、地域と生きる学校」を目指すため、地域の人・場所との交流の開拓をする。				

※（運）→ 運営会議 （教）→ 教務部 （研）→ 研究部 （保）→ 保健部 （高）→ 高等部分教室 （医ケア）→ 医療的ケア担当者会
（危）→ 危機管理対策委員会 （情）→ 情報担当 （交）→ 交流及び共同教育担当

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--

